

# 相談支援つうしん

<第 83 号>2022 年 9 月 29 日  
県立湘南養護学校 支援連携部  
相談支援係 ~教師編~

今回の「相談支援つうしん」は、夏休み中に行われた公開研修会のアンケートについての紹介と教材・教具展についてお伝えしたいと思います。



## 「神経発達症のある生徒へ理解と支援」

東海大学医学部専門診療系精神科学

平塚市医師会 学校保健担当理事

湘南福祉センター診療所 院長

猪股誠司

最初のスライドに表記されていた「共感」という言葉。アンケートの記述欄には、この「共感」についてのコメントがたくさんありました。「自閉症の世界は別物」であるから、行動として見える部分だけでなく、その内面「どんなふうに感じているのか」を理解しなくてはいけない。“日々の指導の中で、共感が充分にはできていなかった”という反省や“共感の大切さを再確認した”という記述が多数ありました。



自閉症の方に共感するためには、その障害特性を知ることが必要です。この研修を聴いて“今まで接した自閉症の人たちの言動に納得しました”“動画を使ったわかりやすい内容で、自閉症の障害特性について理解を深めることができました”というコメントもたくさんありました。今後の研修会への要望には、自閉症についてもっと詳しくお話を伺いたいという希望がいくつかありました。

そして、“この研修で学んだことを今後の指導に役立てたい”という意気込みもありましたが、みなさん新学期から指導に活かすことはできていますか？子どもの思いに共感しながらも学校生活の流れとどう折り合いをつけたらよいか…、研修の中では障害特性について理解できたつもりだったけど、一人ひとりの子どもを理解するとなるとやっぱり難しい…など悩んでいませんか？そんなときは、相談支援係に声をかけてみてください！一緒に子どもの指導について考えていきましょう!!



きたつもりだったけど、一人ひとりの子どもを理解するとなるとやっぱり難しい…など悩んでいませんか？そんなときは、相談支援係に声をかけてみてください！一緒に子どもの指導について考えていきましょう!!

